

都内階段巡り番外編 横浜、山梨編

坂上田村正和

都内はあらかた行きつくしたので、娘が中学受験の時に学校説明会で訪ねて感じた「坂や階段が多い」横浜の女子高へと通じる階段を中心に廻ってみました。

初めは乙女坂(横浜市中区山手町)。都内の坂はおばけ階段とか地獄谷とか物騒な名前が多かったですねえ。乙女坂、聞いただけでワクワクが止まりません。

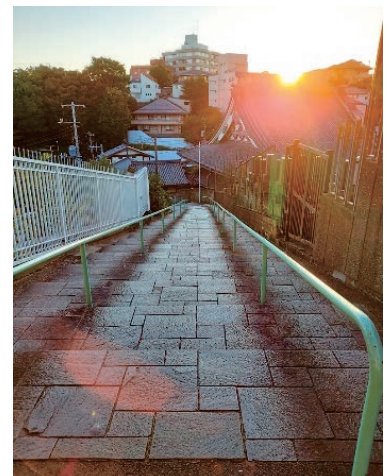
根岸線石川町を降りると両側が小高い丘で、陸側、西側を行くと地藏坂の途中から蓮光寺の脇を抜けるようにその階段があります。地藏坂自体急こう配の坂ですが、さらにそこから階段が続くわけで、しかもかなりの段数で時にはうねうねと、時には一直線が続きます。階段は手すりですり3つに区切られ、登下校時で真ん中の通路が上りになったり下りになったりということでしょうか。やっところさ登りきると右側に横浜女学院、左は横浜共立学園と仲良く並んでおります。

何せ下から覗き込むように写真を撮るため、且つ変態と間違われても当問屋組合は守ってくれそうもないため、早朝に訪れたので女子生徒は全くおりませんでした。

また、てっぺんからの眺めは墓石が目に入りそれほどでもありません。



乙女坂入口看板



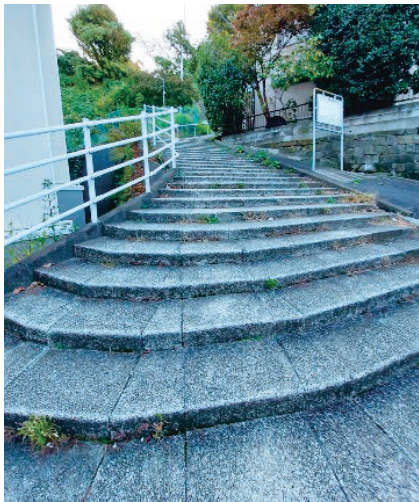
乙女坂お寺脇



横浜女学院



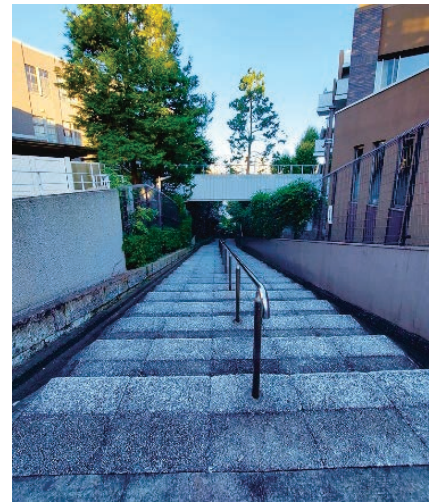
横浜共立



フェリス坂下



フェリス坂看板



フェリス坂上

続いて同駅を海側に降り、商店街を抜け右に折れると西野坂(フェリス坂)。そこには「元町B地区急傾斜地崩壊危険区域」という物騒な看板が立っていました。

階段の幅は広く、真ん中には手すりがあります。この階段も登り始めは曲がっており風情があります。一直線の階段は神社仏閣以外あまり好きではありません。両側は校舎の端で、目隠しの役目を兼ねているのか草木が茂っています。登りきるとくたくたで正門を確認する気さえ起きません。まだ7時過ぎで辺りは静かにもかかわらず、結構階段を下ってくる方も見受けられます。

ここまで来たついでに、この界限で一番の段数を数えると言われる森浅間神社(磯子区森2-16-7)を目指し、磯子駅に向かいます。駅から平坦な道を歩くこと10分ほど、いよいよ階段の始まりです。ここにも「森町B 急傾斜地崩壊危険区域」の看板が。階段とこの看板は切っても切れない関係の様です。

この階段、初めは申し訳なさそうに住宅地の狭間を通る感じがしたが、徐々に本性を現し、最後は直線で部活の階段ダッシュをするのにもってこいの様相で締めくくります。

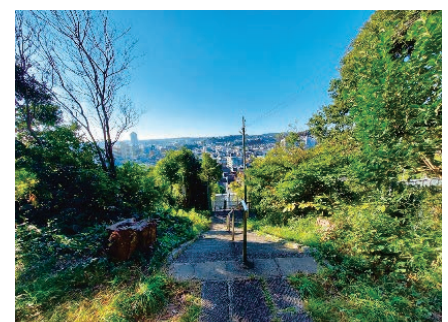
250段以上あるそうで、もしこの上に女子高があったとしたら生徒は入学前に躊躇しそう、偏差値を5は軽く下げそうなすさまじい階段でした。

着いたところはお社なのでお参りをしました。この地は房総半島へ渡る海路の要所であり、鎌倉幕府が祀ったなどの謂れがあるようです。

ふと振り返ると素晴らしい眺めです。まだ8時過ぎ、朝陽が正面でまぶしかったものの町を見下ろせる高台のため、眼下にたたずむ家々がまるでおもちゃのように見えます。



森浅間神社お社手前



森浅間神社眺望



捜真そばの階段



捜真女学園



捜真通学路



捜真協幾重にも連なる階段

階段を降り切って磯子駅を目指すつもりが疲れてもうダメ。最寄りの京急屏風ヶ浦駅から電車に乗りました。当初はあと2つ頑張るつもりだったのに！

日を改めて向かったのは東急東横線反町から15分程度に位置する捜真女学校（神奈川県中丸8）。

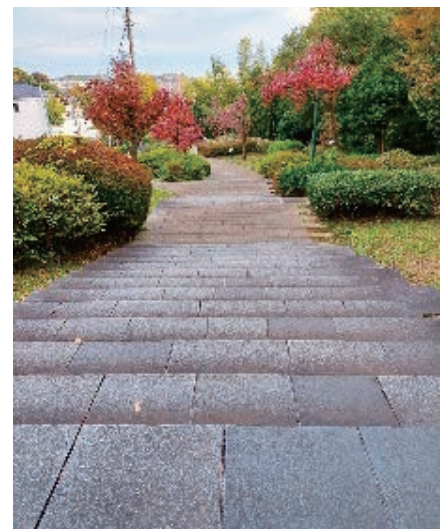
ここは正規通学路が坂になっていて、大雪が降ると休校とか、先生が電動アシスト付き自転車を購入して出勤したところ学校についたらバッテリーが空になっていた！などの逸話があります。ということで上りきるのに一苦労でした。帰りは当初の目的のため階段を探して降りてきました。10段程度の階段が急斜面の道路中央部に設けられていてそれが5，6回ほど続きました。それから坂が続き、ここもなかなかの難所です。横浜というに住みたいまちランキング上位の常連ですが、私は遠慮いたします。

横浜の最後を飾るのは東横線大倉山駅下車、急峻な坂を上りきったところにある大倉山記念館（港北区大倉山2-10-1）へと続く階段。ここは町中から公園を抜けていく道すがらの景観と見晴らしが抜群で、眼下の梅林と言いつつ広々とした公園内に凛としたたたずまいを見せる記念館の風格と言いつつ最高です。歩いてすぐの駅前の賑わいとの対比が良く、前言を撤回し、この坂の上であればよぼよぼになる前まで住んでもいいと思える地です。

この記念館は紙問屋の社長の傍ら図書館や研究所をこの地で開いた大倉邦彦という方が建てた1932年竣工の建物を横浜市が譲り受けたことを記念して、原形をとどめて改装し1984年に開館したそうです。町の名前まで大倉山と変えてしまうほどですから、多大な貢献をされた方なのでしょうね。



大倉山記念館



大倉山手前の公園脇階段

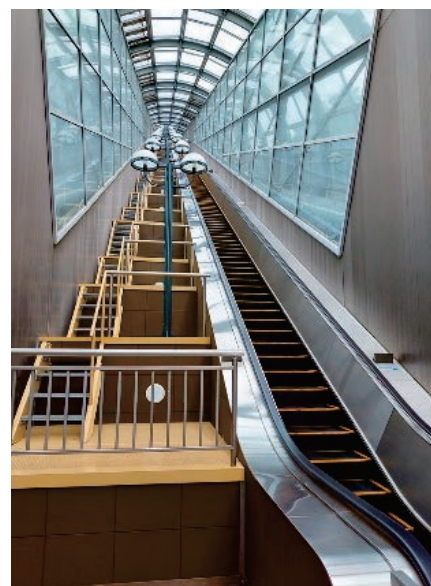


コモアしおつ HP より



エレベーターからの眺め

さて、大取りはこんなの見たことない！山梨県上野原市に1991年より積水ハウスが分譲したコモアしおつ。30から40坪以上のゆったりとした敷地に戸建てが整然と建ち並び、山梨のマチュピチュと呼ばれているそうです。最近直結された中央本線の四方津駅から巨大斜行エレベーターが伸びている凄いところです。エレベーターは2基。所要時間は3分半ということで、傍らには待ち時間のためのベンチが。普通のエレベーターは垂直に上りますが、ここのは斜行で距離210メートル。イメージとしてはケーブルカーに近く、階段やエスカレーターの脇を仲良く登っていく感じです。わきを通るエスカレーターは急ぐ方が足早に駆け下りたりして、それでもかなりの時間がかかりそうです。この施設は住民の方々が維持費を負担しているそうなので上りはそうとは知らずエレベーターを利用したものの、帰りは常時稼働中のエスカレーターを利用。階段は眺めるだけでも爽快というよりはすさまじいものでした。



コモアしおつ凄まじいほどの階段

この場所を知ったのは最良にしているピアニストから以前年賀状が来たため。その後エレベーターが壊れたらどうなるの？とかファンの方と話しているのを耳にし、グーグルで探検してビックリしたというわけ。彼女は今一人暮らしのようで住所は知りませんが、初めての路上教習でイノシシと出くわしたとかすごいことを言っていました。

というわけで都内とその周辺の階段巡り、如何でしたでしょうか。けっこういい運動にもなりますし、面白いとかおっしゃっていただけますと励みにもなりますし、私自身は楽しかったです。皆さんも是非、歩いてみてください。